

1. 研究課題名

肝生検により診断した自己免疫性肝疾患の後ろ向き観察研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

自己免疫性肝疾患には主に自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎の3つの病気があります。いずれも原因不明ですが、病気の発生に何らかの自己免疫が関わっていると考えられています。診断には肝生検が重要です。本研究は、当院で診断・治療を行った自己免疫性肝疾患の症例を分析することにより、今後のより良い診療に役立てることを目的としています。

研究期間は承認日から2027年6月までです。

(2) 利用項目、提供方法

2006年1月から2025年6月までに当院消化器内科で肝生検を行い、自己免疫性肝炎・原発性胆汁性胆管炎・原発性硬化性胆管炎と診断された患者さんが対象です。

対象患者さんの過去の診療記録（カルテ）を参照し、以下のような項目を検討します。

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 身体所見
- ・ 血液検査所見
- ・ 画像所見：超音波、CT、MRI、PET、消化管内視鏡など
- ・ 病理組織学的所見
- ・ 治療内容
- ・ 診断後の臨床経過：治療効果、治療の副作用、生存予後、肝移植の有無など

この研究は、後ろ向き観察研究という方法で行われ、新たに患者さんへの負担はかかりません。研究結果は、個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表されることがあります。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 消化器内科 吉田英雄（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：【消化器内科】吉田英雄